

【提案】 アディショナルポイント制度の一部変更について

2022.12.31

今年度から始まったアディショナルポイント制度ですが、以下の変更を提案します。

変更点 スプリットカバーの定義変更

これまで対象となるスプリットを具体的に19個提示しましたが、漏れもあり、毎回参照するのも手間なので、スプリットカバーすべてを対象とすることにいたします。

【スプリットカバーごとに1 p 付与する】

これにより、[残ピン表示があるスコアシートか、同会場の選手・ギャラリーの確認は不要]となり、一般のスコアシートのみで判別できるようになります。

参考（2022年実施のAPルールの抜粋）

アディショナルポイント(以下AP)制度とは

「上位入賞」以外の選手に対し、活躍に応じてポイントを付与するルール。

…「上位入賞」とは、競技点が「参加者」の半数までの上位の選手

APの上限

従来の優勝ポイントとの合計が【参加者数】までとする

APの付与対象

1. 連続ストライク 試合内でもっとも続いたストライク数に対して

ダブル+1 ターキー+2 フォース+3 …

追記:各ゲーム内での連続ストライクを対象とする

(ゲームをまたいでのストライクの連続は認めない)。

2. スプリットカバー +2 …複数機会も都度カウントする

以下の幅の大きな19通りのスプリットを対象とする

2-6 2-10 3-4 3-7 5-7 5-10 4-6

4-9 4-9・10 4-10 6-7 6-8 6-7・8

7-9 7-10 7・8-10 7・8・9・10 7-9・10 8-10

ただし残ピン表示があるスコアシートか、

同会場の選手・ギャラリーの確認があることが必要

ここを変更

【すべてのスプリットカバー
ごとに+1 p】

に変更

3. 合計スピア数1位 +2

試合内で合計スピアが1位の選手

複数いる場合、全員に

4. 合計点1位 +2

試合内で合計点が1位の選手

複数いる場合、全員に

5. 素点最高点の更新 +2

ハンデ保持選手に対してのみ、自己の素点最高を更新した場合

この項目のみ、上位入賞者も対象とする

6. 参加点 +1

上記1～5にあてはまらない場合、1試合参加(1ゲームも可)に対して

これにより全員が毎試合1P得られることになる